

Advancing Prostate SBRT Course

Precision, Practice, and Patient Outcomes

本会は、前立腺体幹部定位放射線治療 (SBRT) に関する専門知識を深めたい放射線腫瘍医および医学物理士、技師を対象とした、1日の集中教育プログラムです。

専門家による講義、パネルディスカッション、ハンズオン実習を通じて、IGRT下の線量増減、サルベージ SBRT、前立腺全摘後の放射線治療、直腸スペーサー技術等の最新の情報を学ぶことができます。

また、本コースは、局所制御の向上、生活の質の維持、さまざまなリスク群の治療成績最適化に役立つ、実践的かつエビデンスに基づく手法に重点を置いており、治療計画装置を用いた輪郭描出やスペーサー手技トレーニングを通じて、臨床現場ですぐに応用できる実践的スキルを習得できます。

2026年3月15日(日)
9:00 ~ 17:15 ※8:30開場

参加費
無料

ハイブリッド開催 〈現地 & オンライン配信〉 ※配信は講義部分のみ。

※お弁当をご用意しております。

申込URL

[https://event.on24.com/wcc/r/5205677/
3D8AD3CE3B9F82CFA849A2F8710DAF6B](https://event.on24.com/wcc/r/5205677/3D8AD3CE3B9F82CFA849A2F8710DAF6B)



申込締切

2026年3月6日(金)

会場

コングレスクエア日本橋
ホールA・B

東京都中央区日本橋1-3-13
東京建物日本橋ビル2階

- 東京メトロ「日本橋駅」直結
- 東京駅日本橋口から徒歩5分

<https://congres-square.jp/nihonbashi/>



日英同時通訳あり ※講義部分のみ

ACCURAY

Barrigel™

PROGRAM

Time	Contents	Speaker
9:00 - 9:30	Welcome and Intro	Seth Blacksborg
9:30 - 10:00	Maximally Local Control with Quality of Life after Prostate SBRT	Sean Collins
10:00 - 10:30	Advanced SBRT Techniques - Functional Imaging, Escalation, and De-Escalation	Richard Stock
10:30 - 11:00	Salvage SBRT for the Intact Prostate	Michael Chao
11:00 - 11:30	The Future of Rectal Spacing in Prostate SBRT	Sean Collins
11:30 - 12:00	Utility of Rectal Spacing in Prostate Hypofractionated Radiotherapy	Michael Chao
12:00 - 13:00	Lunch	
13:00 - 13:30	SBRT in the Management of Unfavorable and Prostate Cancer	Richard Stock
13:30 - 14:00	Expert Panel (Challenging Cases)	All faculty
14:00 - 14:15	Barrigel Commercial Update	Barrigel
14:15 - 14:30	Accuray Commercial Update	Accuray
14:30 - 14:45	Break	
14:45 - 15:30	Contouring Lab w/ Faculty	
15:30 - 17:00	Fiducials/NASHA Spacing Lab	
17:00 - 17:15	Adjourn	



Sean P. Collins, M.D., Ph.D.

University of South Florida

20年以上にわたり前立腺がん治療を牽引してきた放射線腫瘍学の専門医で、CyberKnife による2500例以上の治療実績があります。“Washingtonian Top Doctor” に選出されるなど高く評価され、研究・教育にも積極的に貢献し、300本超の論文を発表しています。前立腺がんの人種格差研究でNCI助成を受け、臨床試験の委員も務め、現在は米国国防総省の前立腺がん研究プログラムで重要な役割を担っています。

Richard Stock, M.D.

ICAHN School of Medicine at Mount Sinai



IMRT や Novalis 形成照射、超音波ガイド下前立腺シード留置、Mammosite など最先端の放射線治療技術を駆使し、腫瘍を精密に治療しながら正常組織への影響を最小限に抑える治療を目指してきました。American College of Radiology Testing の委員や American Brachytherapy Society の理事を務め、専門誌の客員編集者としても活動しています。また、「America's Top Doctors」にも選出されています。



Michael Chao, MBBS(Hons) FRANZCR DMedSc

Olivia Newton-John Cancer and Wellness Center

乳がんと前立腺がんを専門とする放射線腫瘍医で、18年以上の経験を有しています。Monash Universityを優秀な成績で卒業し、FRANZCR を取得後、Peter MacCallum Cancer Centreで研究フェローとして活躍しました。現在、多くの専門学会に参加し、論文発表や臨床試験にも積極的にに関わり、乳がん・前立腺がんの研究を継続しています。

Seth Blacksborg, M.D., MBA

New York University



歴史学から進路を変え、家族の病気を機に思いやりある医療を志して医学へ進みました。放射線腫瘍学を専門とし、前立腺・脳・脊椎・消化管などの腫瘍に対し、最先端の定位放射線技術や画像誘導技術を用いて治療しています。健康な組織への影響を最小限に抑えつつ、わかりやすい説明と丁寧な対話を重視し、治療のパートナーとして患者さんとそのご家族と共に治療に取り組んでいくことを大切にしています。教育・研究にも力を注ぎ、治療率向上とQOL維持、医療ワークフロー改善にも取り組んでいます。